

平成21年度第4回 全国健康保険協会徳島支部評議会議事録

○日時：2009年12月17日（木）15時～17時00分

○場所：全国健康保険協会徳島支部 会議室

○出席評議員（五十音順 敬称略）

粟飯原一平 徳島県中小企業団体中央会会長
池上政弘 徳島文理大学専門職大学院 総合政策研究科教授
加村祐志 日本労働組合総連合会徳島県連合会副事務局長
勘川一三 徳島県商工会議所連合会副会長
黒田泰弘 徳島大学副学長
澤田順子 徳島家庭裁判所参与
花野靖枝 四国システム開発株式会社企画管理部部長代理
松浦恭之助 徳島県商工会連合会会長
村上和行 富田製薬株式会社総務部次長

○議事次第

1. 平成22年度の保険料率について
2. 平成21年度事業実施状況について
 - ・レセプト点検状況
 - ・健診実施状況
3. 平成22年度徳島支部の事業計画（案）について
4. その他
 - ・現金給付の論点について
 - ・ジェネリック医薬品自己負担軽減額通知サービスについて

○議事内容要旨

1. 平成22年度の保険料率について
事務局より、来年度の保険料率の見通しについて説明し、意見をいただいた。
2. 平成21年度事業実施状況について
事務局より、レセプト点検状況、健診実施状況について説明し、意見をいただいた。
3. 平成22年度徳島支部の事業計画（案）について
事務局より、平成22年度徳島支部の事業計画（案）について説明し、了承をいただいた。

4. その他について

事務局より、①現金給付の論点について②ジェネリック医薬品自己負担軽減額通知サービスについて説明し、意見をいただいた。

(主な議論の概要)

1. 平成22年度の保険料率について

【評議員】大変厳しい状況であり、平成21年度はかなり大きな赤字が出るということですが、単年度収支差が更に大きくなったその根拠について

【回答】

保険料収入が減少し、保険給付費が増加したのが要因です。標準報酬月額推移を見ても8月時点の推計では例年と同じ水準を予想していましたが、10月の推計では悪化し、今回の推計で更に悪化しています。またインフルエンザ等の影響もあり支出が増大し、この収支差が大きくなったということです。

【評議員】景気動向が上向かない限りますます状況が悪化するのではないかと。

健保組合の反発もあるようですが。

【回答】

現在、後期高齢者支援金については加入者数に応じて負担していますが、総報酬額に応じて負担するという案が報道されています。そうすると協会けんぽは負担が減り、健保組合や共済組合は負担が増えるということになり、健保組合から反発の声が上がっているところです。

2. 平成21年度事業実施状況について

【評議員】特定保健指導は事業所から協力を得られるのが難しいですね。数値を高めるのは至難の業みたいですね。(意見)

【評議員】生活習慣病で一番多いのは糖尿病ですか。(糖尿病死亡率1位)

【回答】健診結果で異常として一番表れている割合が多いのは脂質異常、その次が高血圧となります。間食、夜食や運動不足により肥満傾向が強まり、脂質異常や高血圧を招き、糖尿病になっていることが言えます。

3. 平成22年度徳島支部の事業計画(案)について

【評議員】特定健康診査、保健指導の数値目標は達成できそうですか。可能な数値か。

【回答】

前年度(今年度)を上回る目標を掲げています。今年度の生活習慣病予防健診実施率目標は42.5%ですが、このまま推移すれば、目標に近い数値が出そうです。平成22年度は45%という数値を目標に掲げました。達成可能な数値であると考えています。

4. その他（現金給付の論点について、ジェネリック医薬品自己負担軽減額通知サービスについて）

【評議員】 この通知書の中にはどのような種類のジェネリック医薬品があるというのが記載されているのですか。

【回答】

数種類ある中の一番高いジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額金額を記載しています。差額金額については200円以上になるかどうかは現在未定です。

次回評議会開催日程

- 日 程：2010年1月20日（水）15時～17時
- 場 所：全国健康保険協会徳島支部 会議室
- 議事内容予定：1. 平成22年度保険料率について
2. 平成22年度予算について
3. その他